

2026年度 第3回 笠井中学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 2026年2月12日（木） 15時00分から16時30分まで
- 2 開催場所 笠井中学校 図書室
- 3 出席委員 松本 久和、田中 孝、高井 優子、田中 清、神谷 清、森下 律子、
神谷 英俊、岡本 聖子
- 4 欠席委員 三好 妙繁
- 5 オブザーバー 浜松市議会議員 鈴木 真人、笠井協働センター 小林
- 6 学 校 平原 政和（校長）、秋月 真也（教頭）、山本 幸子（CSディレクター）、
但野 仁美（教務主任）、増田 剛士（2年副主任）、野中 秀樹（1年主任）、
中村 謙（A組主任）

- 7 傍聴者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 山本 幸子
- 9 議長の選出

司会から議長の選出について意見を求めたところ、松本会長より、神谷清委員を推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

10 前回議事録確認

議長の指示により、秋月教頭から、別紙資料に基づき前回議事録確認の説明があった。

11 協議事項

- (1) 7年度を振り返って
 - ・学校評価のまとめより
 - ・学校運営協議会自己評価より
- (2) 8年度の教育構想について
 - ・令和8年度笠井中学校 学校経営方針
- (3) その他
 - ・夢育やらまいか事業(CS加算分)の報告について

12 会議記録

議長の神谷清委員から委員総数9人のうち8人の出席があり、過半数に達しているため、会議が成立している旨の報告があった。

(1) 学校評価のまとめより

議長の指示により、但野教務主任から、別紙資料に基づき学校評価のまとめについて説明があり、委員からは以下の発言があった。

- ・項目15の『地域連携』の自己評価は生徒全体を見ても低いですが、去年行われた協働センター祭りでは法多山のお団子を販売している中学生を見かける等、ボランティア活動に積極的に参加している生徒もいるのでその点は良かったと思う。 (神谷 清委員)
- ・去年11月に行われた笠井地区の防災訓練では、36名の中学生がボランティアとして参加してくれてとても頼もしかった。今年も引き続きお願いしたいと思う。 (松本 会長)

- ・ボランティア活動への参加方法はどうか募っているのか教えてほしい。 (森下 委員)
- ちらしを個別配布したり、教員が参加の呼びかけを行ったりしている。今後も生徒の地域参画が広がるよう声掛けを続けていきたいと思う。協議会で地域から評価されたことを伝えるなどして情報発信もしていけたらと思っている。 (秋月 教頭)
- ・SNSについては、生徒と教員・先生との評価が分かれている。 (神谷 英俊委員)
- 生徒は楽しく使えていると思っているが、携帯の一日の使用時間が10時間を超えている生徒がいる等、その使い方について心配なところもあり、引き続き指導していきたいと思う。 (増田 副主任)
- ・ニュースでもある高校の野球部員の生徒がSNSの使い方でも問題になったが、日常的にSNSの危険性について学校全体で大きく取り上げても良いのではないかと。 (神谷 清委員)

(2) 学校運営協議会自己評価より

- 議長の指示により、秋月教頭から、別紙資料に基づき学校運営協議会自己評価について説明があり、委員からは以下の発言があった。
- ・評価項目3の『協議会での協議結果について、十分な情報発信を行ったか』について十分な情報発信できる手段はないかと考えた時に、さくら連絡網は保護者にしか発信ができないので自治会各戸配布のCSカレンダーの欄にコメントに入れておくのが良いのではないかと思った。 (神谷 清委員)
 - ・民生委員の方では学校運営協議会での熟議の内容などを伝えている。 (森下 委員)

(3) 令和8年度の教育構想について

- 議長の指示により、平原校長から、別紙資料に基づき令和8年度笠井中学校学校経営方針(案)について説明があり、協議の結果、全員意義なくこれを承認した。委員から以下の発言があった。
- ・令和8年度キーワード『チャレンジ～新たな自分に挑戦～』になっているが、どん欲にチャレンジしてほしいと思う。 (田中 孝委員)
 - ・笠井中学校の部活動の在り方・浜松市の休日の部活動の地域展開について、先生が活躍する場所を奪っているように思う。また、地域や保護者が離れていってしまうのではないかと心配になる。 (田中 清委員)
 - ・中学校まで朝、車で送迎をしているが、先生や協議会委員の方が校門に立ってひとりひとりに声をかけてくれていて、周りの方が気にかけてくれていたのがありがたい。今後、部活動が縮小していく中で先生や地域の方の目が少なくなるのではないかと心配な点もある。 (岡本 委員)
 - ・不登校の児童は？ (神谷 清委員)
 - 現在、投稿が難しい生徒も数名いる。教室に入れられない生徒は校内まなびの教室があり、そこに登校している生徒も多い。学習や友人関係、家庭環境など様々な事情を抱えている生徒がいる。いじめについて教員はアンテナを高くして生徒との会話を大切にしながら対応にあたっている。

またいじめについて定義に従って認知しており、いじめとしての認知件数も増えてきている。生徒たちの様子をより細かく把握するよう努めている (平原 校長)

- ・スクールカウンセラーの日を設けていると思うが、日時が決まった日にやることはもちろん大切ですが、ちょっとした時に話を聞いてほしいと思う時もあると思う。理想論ではあるが、毎日いてくれたら・・・と思う。 (森下・高井委員)

(4) その他

- ・夢育やらまいか事業(CS 加算分)の報告について議長の指示により、秋月教頭から、夢育やらまいか事業の報告について口頭にて説明があった。

(5) 連絡事項

- ・令和7年度退任委員挨拶 松本会長、神谷英俊委員、高井委員が退任の挨拶をした。
- ・令和8年度第1回の会議は令和8年5月28日(木)15時00分より開催予定である。